

未収金目標及び具体取組内容の一覧

所属名:平野区役所

[illegible]

未収金目標及び具体取組内容調書

所属	平野区	担当	総務課	債権整理番号(3ケタ)	平野 005	債権区分	非強制徴収公債権(非強 公)	債権名	区庁舎目的外使用に係る使用料 (食堂)
----	-----	----	-----	-------------	-----------	------	-------------------	-----	------------------------

1. 令和4年度の修正目標（＝未収金残高目標）の達成状況 … いずれかの記号を入力 ※修正目標 … 当年度当初に、前年度末の未収金残高の結果を踏まえて、当初目標を修正したもの

(例)令和4年度修正目標＝令和4年度当初に、令和3年度末の未収金残高の結果を踏まえて、令和4年度当初目標を修正したもの

過年度	B1	現年度	－	合計(過年度＋現年度)	B1
-----	----	-----	---	-------------	----

「A」… 目標達成、「B1」… 取組みは予定通り実施したが、目標は未達、「B2」… 取組みを予定通り実施できず、目標も未達、「－」… 当年度中に新規発生した債権のため、前年度時点で目標未設定

2. 未収金の推移（実績及び目標） … 色付け箇所のみ、百円単位を四捨五入した、千円単位の整数 ※当初目標 … 前年度中に設定する当年度の目標

(単位:千円)

		過年度分								現年度分							合計			
		前年度からの 調定繰越額	年度中の 調定減少額	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	徴収率	整理率	未収金残高
		ア ＝前年度ケ [＊]	イ ＝ア－ウ (▲＝増加を表す)	ウ	エ	オ	カ ＝イ＋エ＋オ	キ ＝エ÷ウ	ク ＝カ÷ア	ケ ＝ウ－(エ＋オ)	ウ [＊]	エ [＊]	オ [＊]	カ [＊] ＝エ [＊] ＋オ [＊]	キ [＊] ＝エ [＊] ÷ウ [＊]	ク [＊] ＝カ [＊] ÷ウ [＊]	ケ [＊] ＝ウ [＊] － (エ [＊] ＋オ [＊])	キ [＊] ＝(エ＋エ [＊]) ÷(ウ＋ウ [＊])	ク [＊] ＝(カ＋カ [＊]) ÷(ア＋ア [＊])	ケ [＊] ＝ケ＋ケ [＊]
A	令2 実績	144	0	144	144	0	144	100.0%	100.0%	0	732	0	0	0	0.0%	0.0%	732	16.4%	16.4%	732
B	令3 実績	732	0	732	732	0	732	100.0%	100.0%	0	1,610	1,171	0	1,171	72.7%	72.7%	439	81.3%	81.3%	439
C	令4 修正目標	439	0	439	439	0	439	100.0%	100.0%	0	0	0	0	0	－	－	0	100.0%	100.0%	0
D	令4 実績	439	0	439	260	0	260	59.2%	59.2%	179	0	0	0	0	－	－	0	59.2%	59.2%	179
E	令5 当初目標	0	0				0	－	－	0				0	－	－	0	－	－	0
F	令5 修正目標	179	0	179	179	0	179	100.0%	100.0%	0	0	0	0	0	－	－	0	100.0%	100.0%	0
G	令6 当初目標	0	0	0	0	0	0	－	－	0	0	0	0	0	－	－	0	－	－	0

3. 令和4年度決算見込における未収金実績の状況（区分別の未収債権の件数・未収金残高、債務者数） … 未収債権の件数及び債務者数については、色付け箇所のみ、整数で入力。未収金残高については、色付け箇所のみ、百円単位を四捨五入した、千円単位の整数で入力

(残高の単位:千円)

分類		回収債権									整理債権							合計	
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯		
		滞納発生直後 のもの (督促状未送付 のもの)	督促状送付後、 各種催告中 又は 納付交渉中のもの	督促状送付後、 各種処分に向け て、財産調査中 又は 行方不明等所在 など調査中 又は 個人債務者が 死亡したため、 相続人調査中の もの	【強制公】 差押手続中のもの 又は 交付要求中のもの 【非・私】 債務名義取得 のため法的手続 中のもの	【強制公】 差押え後、 換価手続中 又は 換価予定のもの 【非・私】 債務名義の取得 後、 強制執行中 又は 強制執行予定 のもの	換価猶予等又は は履行延期の 特約等又はは分割 納付中であり、 現在の分割納付 額で、10年以内 の完納見込がある もの	換価猶予等又は は履行延期の 特約等又はは分割 納付中であり、 現在の分割納付 額では、完納まで 10年以上要するもの	換価猶予等又は は履行延期の 特約等又はは分割 納付中であり、 現在の分割納付の 履行が滞り、再度、 納付交渉中のもの	換価猶予等又は は履行延期の 特約等又はは分割 納付中であり、 分割納付の履行が 滞り、再度、納付交 渉中のもの	【強制公】 差押えを行ったが、 換価見込のないもの 又は 換価済だが、未収金 が残る、回収見込み がないもの 【非・私】 債務名義を取得したが、 債務者の財産少額に より、強制執行見込 のないもの	所在など調査後なお 行方不明等又は 相続人調査後なお 相続人未確定若しくは 相続人不存在確定だが、 停止の判断に至れて いないもの	債務者の代理人から 債務整理の委任通知が 届いているもの又は 債務者が破産手続中の もの	債務者が破産免責決定 を受けたもの	【強制公】 法に基づく滞納処分の 停止の決議を行っている もの 【非・私】 法に基づく徴収停止の 決議を行っているもの	【強制公】 債務者が生活困窮中だが、 債権の特性上、停止の 決議を行えないもの 【非・私】 債務者が無資力が ないが、納付交渉に 応じず、履行延期の特 約等を行えないもの	消滅時効期間が経過 しているもの	残高の合計 ＝上記2のD (令3実績) のケ及びゲ ※ 残高の数字の一致を 確認の上、提出。 ただし四捨五入に伴う 不一致の場合は除く。 (その場合は、不一致 となった合計欄のセル を黄色く塗りつぶして 提出)	
過年度	未収債権 の件数								1	1							0	1	
	未収金 残高							179	179								0	179	
現年度	未収債権 の件数									0							0	0	
	未収金 残高								0								0	0	

【未収債権の件数及び債務者数並びに分類の考え方】
① 未収債権の件数は、原則、調定件数とする。調定をまとめて行っている場合は、事実上の債権の件数とする。（例：毎月12回の定期給付債権の場合、1人の債務者につき、1年間で12件の債権が発生していることとなる。）
② 1つの債権に、連帯債務者や連帯保証人が設定されている場合であっても、調査票上、未収債権の件数は1件、債務者数は1人と考え、3の表は、未収債権の状況の進捗が最も進んでいる者の状況で分類する。
③ 債務者が死亡した場合で、相続人が複数いる場合、相続割合に従い、債務が相続される（債務が分割して相続される）が、調査票上、未収債権の件数は1件、債務者数は1人と考える。
それぞれの相続人で、未収債権の状況が異なっている場合、3の表は、相続された債務額の最も大きい相続人の状況で分類する。同額の場合は、未収債権の状況の進捗が最も進んでいる者の状況で分類する。
※ 未収債権の進捗状況 … ① → ② → ③ ⇒ 回収債権：(④ → ⑤) 又は ⑥ 又は ⑦ 又は ⑧ 又は ⑨ / 整理債権：(⑩ 又は ⑪ 又は (⑫ → ⑬) → ⑭) 又は ⑮ → ⑯

令和4年度 決算見込に おける 債務者数	1	令和4年度決算見込における 未収債権の件数(過年度＋現年度)	1
		令和4年度決算見込における 未収金残高(過年度＋現年度) ＝上記2のD(令4実績)のケ	179

4. 令和4年度の取組内容の検証など

	過年度	現年度
取組内容	令和3年度分の未収金(439千円)について、履行延期申請書の提出を受けて分割納付を行っている。令和4年11月から国庫の借入金の返済も始まったので、納付金額の調整を行った。	—
取組実績	令和3年度分の未収金残高(439千円)のうち260千円を納付。 未収金残高は179千円となった。 引き続き債務者の収入状況等を確認しつつ、債権回収に努める。	—
課題	債務者世帯は高齢で就労収入が多くは見込めず、ほぼ年金収入のみで生活している状況である。年金収入は、最低生活費程度の収入であり、可処分所得が少ない状況。また、国庫からの借入も把握しており、生活への影響を最小化しつつ確実に債権を回収する必要がある。	—
改善策	債務者の履行延期申請書に基づき履行確認を行い、適宜債務者本人の生活状況を聴取しながら計画的な回収を行っていく。	—

5. 令和5年度の取組内容 … 「1. 令和4年度の修正目標(＝未収金残高目標)の達成状況」及び「4. 令和4年度の取組内容の検証など」の内容を踏まえて記載

	過年度	現年度
取組内容	引き続き納付交渉を行い、再度令和3年度未収金の履行延期申請書の提出を受けた後、適宜債務者本人の生活状況を聴取しながら計画的な分割納付を継続していく予定。	—

未収金目標及び具体取組内容調書

所属	平野区	担当	総務課	債権整理番号(3ケタ)	平野 006	債権区分	非強制徴収公債権(非強 公)	債権名	過年度給与の戻入金
----	-----	----	-----	-------------	-----------	------	-------------------	-----	-----------

1. 令和4年度の修正目標（＝未収金残高目標）の達成状況 … いずれかの記号を入力 ※修正目標 … 当年度当初に、前年度末の未収金残高の結果を踏まえて、当初目標を修正したもの

(例)令和4年度修正目標＝令和4年度当初に、令和3年度末の未収金残高の結果を踏まえて、令和4年度当初目標を修正したもの

過年度	－	現年度	－	合計(過年度＋現年度)	－
-----	---	-----	---	-------------	---

「A」… 目標達成、「B1」… 取組みは予定通り実施したが、目標は未達、「B2」… 取組みを予定通り実施できず、目標も未達、「－」… 当年度中に新規発生した債権のため、前年度時点で目標未設定

2. 未収金の推移（実績及び目標） … 色付け箇所のみ、百円単位を四捨五入した、千円単位の整数 ※当初目標 … 前年度中に設定する当年度の目標

(単位:千円)

過年度分										現年度分							合計		
前年度からの 調定繰越額	年度中の 調定減少額	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高		調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	徴収率	整理率	未収金残高
ア ＝前年度ケ"	イ ＝ア－ウ (▲＝増加を表す)	ウ	エ	オ	カ ＝イ＋エ＋オ	キ ＝エ÷ウ	ク ＝カ÷ア	ケ ＝ウ－(エ＋オ)		ウ'	エ'	オ'	カ' ＝エ'＋オ'	キ' ＝エ'÷ウ'	ク' ＝カ'÷ウ'	ケ' ＝ウ'－ (エ'＋オ')	キ" ＝(エ＋エ') ÷(ウ＋ウ')	ク" ＝(カ＋カ') ÷(ア＋ウ')	ケ" ＝ケ＋ケ'
A 令2 実績	0				0	－	－	0					0	－	－	0	－	－	0
B 令3 実績	0	0			0	－	－	0					0	－	－	0	－	－	0
C 令4 修正目標	0	0			0	－	－	0					0	－	－	0	－	－	0
D 令4 実績	0	0	0	0	0	－	－	0	194	0	0	0	0	0.0%	0.0%	194	0.0%	0.0%	194
E 令5 当初目標	0	0			0	－	－	0					0	－	－	0	－	－	0
F 令5 修正目標	194	0	194	194	0	100.0%	100.0%	0	0	0	0	0	0	－	－	0	100.0%	100.0%	0
G 令6 当初目標	0	0	0	0	0	－	－	0	0	0	0	0	0	－	－	0	－	－	0

3. 令和4年度決算見込における未収金実績の状況（区分別の未収債権の件数・未収金残高、債務者数） … 未収債権の件数及び債務者数については、色付け箇所のみ、整数で入力。未収金残高については、色付け箇所のみ、百円単位を四捨五入した、千円単位の整数で入力

(残高の単位:千円)

回収債権										整理債権							合計	
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨		⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯		
分類	滞納発生直後の もの (督促状未送付 のもの)	督促状送付後、 各種催告中 又は 納付交渉中のもの	督促状送付後、 各種処分に向け て、財産調査中 又は 行方不明等所在 など調査中 又は 個人債務者が 死亡したため、 相続人調査中の もの	【強制公】 差押え後、 換価手続中のもの 又は 交付要求中のもの 【非・私】 債務名義取得 のため法的手続 中のもの	【強制公】 差押え後、 換価手続中 又は 換価予定のもの 【非・私】 債務名義取得 後、 強制執行中 又は 強制執行予定 のもの	換価猶予等又は は履行延期の 特約等又はは分 割割約により、 分割納付中であり、 現在の分割納 付額で、10年以 内の完納見込 があるもの	換価猶予等又は は履行延期の 特約等又はは分 割割約により、 債務者の資力 回復を待った め、納付を猶予 (期限延長)して いるもの	換価猶予等又は は履行延期の 特約等により、 債務者の資力 回復を待った め、納付を猶予 (期限延長)して いるもの	換価猶予等又は は履行延期の 特約等又はは分 割割約により、 分割納付の履 行が滞り、 再度、納付交渉 中のもの	【強制公】 差押えを行った が、換価見込の ないもの 又は 換価済だが、未 収金が残る、回 収見込みがない もの 【非・私】 債務名義を取得 したが、債務者 の財産少額によ り、強制執行見 込のないもの	所在など調査後 なお行方不明等 又は 相続人調査後な お相続人未確定 若しくは 相続人不存在 確定だが、 停止の判断に 至っていないもの	債務者の代理 人から債務整理 の委任通知が 届いているもの 又は 債務者が破産 手続中のもの	債務者が破産 免責決定を受け たもの	【強制公】 法に基づく滞納 処分の停止の 決議を行っているもの 【非・私】 法に基づく徴収 停止の決議を 行っているもの	【強制公】 債務者が生活 困窮中だが、債 権の特性上、停 止の決議を行え ないもの 【非・私】 債務者が無資 力だが、納付交 渉に応じず、履 行延期の特約 等を行えないもの	消滅時効期間 が経過している もの		残高の合計 ＝上記2のD (令3実績) のケ及びケ' ※ 残高の数字の 一致を確認の 上、提出。 ただし四捨五入 に伴う不一致の 場合は除く。 (その場合は、 不一致となった 合計欄のセルを 黄色く塗りつぶ して提出)
過 年 度	未収債権 の件数									0							0	0
	未収金 残高									0							0	0
現 年 度	未収債権 の件数	1								1							0	1
	未収金 残高	194								194							0	194

【未収債権の件数及び債務者数並びに分類の考え方】

① 未収債権の件数は、原則、調定件数とする。調定をまとめて行っている場合は、事実上の債権の件数とする。(例:毎月の定期給付債権の場合、1人の債務者につき、1年間で12件の債権が発生していることとなる。)

② 1つの債権に、連帯債務者や連帯保証人が設定されている場合であっても、調査票上、未収債権の件数は1件、債務者数は1人と考え、3の表は、未収債権の状況の進捗が最も進んでいる者の状況で分類する。

③ 債務者が死亡した場合で、相続人が複数いる場合、相続割合に従い、債務が相続される(債務が分割して相続される)が、調査票上、未収債権の件数は1件、債務者数は1人と考える。

それぞれの相続人で、未収債権の状況が異なっている場合、3の表は、相続された債務額の最も大きい相続人の状況で分類する。同額の場合は、未収債権の状況の進捗が最も進んでいる者の状況で分類する。

※ 未収債権の進捗状況 … ① → ② → ③ ⇒ 回収債権: (④ → ⑤) 又は ⑥ 又は ⑦ 又は ⑧ 又は ⑨ / 整理債権: (⑩ 又は ⑪ 又は (⑫ → ⑬) → ⑭) 又は ⑮ → ⑯

令和4年度
決算見込に
おける
債務者数

1

人

令和4年度決算見込における
未収債権の件数(過年度＋現年度)

1

令和4年度決算見込における
未収金残高(過年度＋現年度)
＝上記2のD(令4実績)のケ

194

4. 令和4年度の取組内容の検証など

	過年度	現年度
取組内容	—	令和3年度の給与展入(194千円)について総務局とともに令和4年度対応開始。督促状送付後、各種催告及び納付交渉実施。
取組実績	—	電話連絡、訪問、督促状・納付書送付。
課題	—	訪問交渉の際に返還交渉を行ったが、納付計画の提示なし。
改善策	—	総務局管理課と連携をとりながら、納付に向けて進める。

5. 令和5年度の取組内容 … 「1. 令和4年度の修正目標(＝未収金残高目標)の達成状況」及び「4. 令和4年度の取組内容の検証など」の内容を踏まえて記載

	過年度	現年度
取組内容	総務局管理課と連携をとりながら、納付に向けて進める。	—